佐久間弘道教授　略歴・主要業績

1　略　歴

学　歴

昭和38年３月　東京大学法学部卒業

職　歴

昭和38年４月　日本勧業銀行（現みずほ銀行）入行
昭和55年１月　大阪支店貸付第三課長
昭和63年７月　本店調査部次長（法規担当）
平成３年９月　第一勧銀総合研究所法規調査部長
平成５年６月　第一勧銀信用開発㈱（現みずほ信用保証㈱）取締役
平成10年４月　國學院大學法学部教授（民法担当）
平成16年３月　弁護士登録（東京弁護士会）
平成16年４月　駒澤大学法科大学院教授（民法、金融法担当）
平成21年３月　同法科大学院定年退職

2　業績目録

著書

1．石井真司監修「営業店の金融法務」経済法令（1993年２月）（2001年８月七訂版）（全423頁）（共著）、担当部分（287頁～334頁）貸出金等の債権に対する管理・回収部分について記述。
2．「共同抵当の代価の配当に関する研究」第一勧銀総合研究所（1992年６月）（全193頁）（単著）
3．「共同抵当の理論と実務」金融財政（1995年５月）（全599頁）（単著）
4．浦野雄幸編「判例・先例コンメンタール　新編不動産登記法第４巻」三省堂（1999年７月）（全483頁）（共著）、担当部分（435頁～467頁）（122条～125条）
5．河野玄逸＝北秀昭編「保証契約の法律相談」青林書院（2003年１月）（全

駒澤法曹第６号（2010）

508頁）（共著）、担当部分（235頁～262頁）代位弁済の部分

６.「根抵当の実務」金融財政（2006年３月）全219頁（共著）

論文（2000年以降分）

１.「物上代位に基づく差押えの意義」（賃料債権の譲渡と抵当権の物上代位との優劣に関する最二小判平10. １. 30の見方）金融法務事情1579号21頁（2000年５月）（2000年６月）（21頁～30頁）

２.「賃料債権の譲渡に優先する抵当権者の物上代位権の問題点と賃借人の相殺権」國學院法学38巻３号１頁～38頁、４号37頁～83頁（2000年12月、2001年３月）

３.「抵当権価値権論と抵当権による占有排除」金融法務事情1603号（2001年２月）（６頁～14頁）

４.「共同抵当不動産が異なる物上保証人所有の場合における同順位抵当権者に対する配当方法」金融法務事情1618号58頁（2001年８月）（58頁～66頁）

５.「共同抵当権の目的不動産の一部に他の抵当権が同順位で設定されている場合の同時配当」銀行法務21. 596号74頁（2001年10月）（74頁～80頁）

６・「ネット払い預金の払戻しにつき厳格な本人確認手続を定めた銀行の注意義務の程度――大阪高判平14・３・26の問題――」金融法務事情1645号23頁（2002年６月）（23頁～31頁）

７.「融資残高の一部のみを記載した残高証明書を発行した銀行の第三者に対する不法行為責任」判例タイムズ1094号101頁（2002年９月）（101頁～105頁）

８.「遅延損害金の誤記と債権計算書による増額訂正
共同抵当不動産の一部に他の抵当権が同順位で存する場合の同時配当」銀行法務21・615号16頁～22頁（2003年３月）

９.「共同連帯保証人相互の求償と弁済による代位」金融法務事情1667号31頁（2003年６月）（31頁～40頁）

10.「１個の抵当権が数個の債権を担保しそのうちの１個の債権が代位弁済された場合の売却代金の配当」金融法務事情1759号40頁（2006年１月）（40頁～47頁）